

2月号

感謝

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

3学期がスタートし1ヶ月が過ぎました。今のところ学校でのコロナの感染状況は落ち着いていますが、インフルエンザによる欠席も見られるようになっていきます。感染症対策にはまだまだ気が抜けない日々が続きます。年度のまとめの大切な時期を、子どもたちには元気に過ごしてほしいと思っています。

1月22日、男子車いすテニスの第一人者で、東京パラリンピックの金メダリスト国枝慎吾さんが引退を表明しました。自身のツイッターには「もう十分やりきったという感情が高まり、決意した次第です。最高の車いすテニス人生でした。」とつぶらされていたそうです。

国枝さんは小学校4年生の時に、脊髄腫瘍が見つかり、緊急手術で一命をとりとめるも、両足の機能は戻らず車いす生活となりました。それでも、並外れた運動能力と巧みなチェアワークでグランドスラムを達成し、10年にわたり世界ランキング1位の座に君臨しました。

「誰かに勝つことは、目に見えて結果が出るけれど、自分自身に打ち勝つことは、もっと難しい。」(『スポーツ感動物語』アスリートの原点2 ゆずれない信念『国枝慎吾 挑み続けるチャンピオン』株式会社学研プラス からの引用)

自分自身に打ち勝ち、最強であり続けた彼の姿は、多くの人に勇気や感動を与えました。そしてその陰には、たくさんの苦悩や人の何倍もの努力があったのだと思います。だからこそ、「もう十分やりきった」の言葉は、私たちの心の奥底に深く染み渡ってきます。

3年生から6年生は、1月に体育館での書き初めの授業がありました。地域の書家の高橋先生のご指導で、大きく堂々とした文字が廊下の壁を飾っています。児童ひとり一人に氏名のお手本を書いてくださるので、名前の文字も立派です。6年生は「将来の夢」という文字を書きました。作品は1階の廊下に掲示してありますが、どれも素晴らしい作品ばかりです。作品を鑑賞しながら、高橋先生に感謝するとともに、3月20日、6年生はどんな「将来の夢」を抱きながら、小学校を巣立っていくのだろうと、卒業の日を思い浮かべました。

また、下の写真は東側昇降口付近の花壇を写したものです。地域の方が、育ててくださっています。来校される方は口々に「見事に咲いているね。」と感心されています。

異常と呼ばれる気象状況の中でも、毎日子どもたちの下校を見守ってくださる「おかえりなさい運動の会」のみなさまをはじめ、校庭の草むしりや側溝掃除、池の管理に银杏の落ち葉掃き・・・今年度も地域のたくさんの方が草柳小学校のためにお力を注いでくださいました。

あらためてみなさまに感謝するとともに、私たちも子どもたちの学びや健やかな成長のために、努めていかなければと感じています。

